

会 議 録 (1)

| | | | | |
|----------|--|-------------------------|----------------|----------------|
| 会議の名称 | 令和7年度第2回飯能市社会教育委員会議 | | | |
| 開催日時 | 令和8年3月19日(木) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時36分 | | | |
| 開催場所 | 飯能市役所本庁舎別館会議室1 | | | |
| 議長氏名 | 社会教育委員代表 大野 康 | | | |
| 出席委員 | 大野 康 岡部 暢子 竹内 陽子 | 高野 淳一 島田 一則 平野 和弘 | 中井 健一 福嶋 信子 | 久保田 篤 新井 善治 |
| 欠席委員 | 平野 功 木崎 秀尚 | 矢島 得充 | 林 一夫 | 山川 安代 |
| 説明者の職氏名 | 生涯学習課長 同 主査 | 木村 由里子 筑井 利江 | | |
| 傍聴者の数 | 1名 | | | |
| 会議次第 | 別紙のとおり | | | |
| 配布資料 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度生涯学習課事業報告(資料1) 2. 文藝飯能46号 3. 令和7年度 明るいまちづくりへの提言 第42集 4. 地形・地質ウォッチング! 歩いて楽しむ飯能 5. 山つつじNO.40 6. 人権教育 第27号 7. 令和7年度 入間地区市町村社会教育委員研修会 資料 8. 原市場の森・桜と砲丸投フェスティバル開催のお知らせ | | | |
| 事務局職員職氏名 | 教育部 | 生涯学習課長 | 木村 由里子 | |
| | 同 | 生涯学習課主査 | 筑井 利江 | |
| | 同 | 生涯学習課 | 中村 雅人 | |

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| | 開会：午前 10 時 00 分 |
| 課 長 | <p>ただいまから、令和 7 年度 第 2 回 飯能市社会教育委員会議を始めさせていただきます。</p> <p>それでは改めまして、代表の大野様よりごあいさつをお願いいたします。</p> |
| 代 表 | (大野代表あいさつ) |
| 課 長 | <p>大野様ありがとうございます。</p> <p>議事進行につきましては、代表の大野様にお願いしたいと存じます。よろしくをお願いいたします。</p> |
| 委 員 | 本日の会議は、飯能市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき原則公開とさせていただきます。 |
| 議 長 | 本日、傍聴希望の方はいらっしゃいますか。 |
| 事務局 | 1 名います。 |
| 議 長 | <p>本日は 1 名の方から、傍聴の申し込みがありました。</p> <p>この会議に傍聴の申し出がございますので、傍聴の許可及び会議資料の閲覧について、皆さまにお諮りします。</p> <p>傍聴の許可及び閲覧について、反対の方いらっしゃいますか。</p> <p>(「なし」という声あり。)</p> <p>反対の方がいらっしゃいませんので、傍聴を許可したいと思います。</p> <p><傍聴者入室></p> <p>傍聴人の方へお願いです。</p> <p>審議会等の公開につきましては、飯能市審議会等の公開に関する指針により、会議資料は閲覧となりますので、ご了承ください。途中退室時、または会議の終了の退室時は、資料を置いての退室をお願いいたします。</p> <p>また、審議会の長は、会場の秩序の維持に努めるものとされており、必要と認めるときは傍聴人の退席を命ずることができるとされており、ご承知おきください。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>次第に沿って議事を進めて参ります。</p> <p>(1) 令和7年度生涯学習課の事業報告（資料1）について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>（資料1に基づき説明）</p> |
| 議長 | <p>それではただいまの説明について、ご意見やご質問がありますか。</p> |
| 委員 | <p>生涯学習フェスティバルは、大人のためのイベントというイメージもありますが、あくまで全世代向けのものなので、これからの飯能を背負っていく子どもたちのため、体験ブースに力を入れてきました。子どもが来るとその親も来ますので、今回は若い親も散見され、広がりを感じられました。大川学園高等学校の生徒、ホッケー体験の中学生など、若い力を借りながら、良い内容となったのではないのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>当日に参加できなかったのですが、博物館市民学芸員の展示やあさひやまライフネットの脳トレ体験の関係者よりアンケートの集計結果を聞いていますので報告させていただきます。博物館は、昔の道具さがしクイズと石臼体験を行いました、延べ137人の参加がありました。また、市民会館で行ったあさひやまライフネットの脳トレ体験は99名の参加がありました。そのうち10名は市外（横浜市・さいたま市・川崎市・所沢市・厚木市）からの参加者とのことです。博物館の連携展示については、博物館のPRになり良かったです。</p> |
| 議長 | <p>今回配布いただいた資料に「地形・地質ウォッチング！歩いて楽しむ飯能」がありますが、この冊子について少し補足説明をお願いできますか。</p> |
| 事務局 | <p>こちらの冊子については、同じ生涯学習課の文化財担当が今年度作成した冊子となります。一部300円で販売しているものですが、今回、委員の方には1部配布させていただきました。令和8年度からは、博物館のみ販売となります。</p> |
| 議長 | <p>この冊子にも載っている打田氏の講座は、座学を受けてから、すぐに現地へ赴くことができたところも大きな魅力です。そのあたりの飯能の良さも、もっとアピールしたいところです。</p> |
| 議長 | <p>少年の主張大会も大いに盛り上がりましたが、このあたりについてはいかがですか。</p> |
| 委員 | <p>少年の主張大会については、子どもたちが原稿を見ずに発表することは非常に素晴らしいと思っています。今後もこのような発表の機会を作ってほし</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>いと思います。また、放課後子ども教室についてですが、小規模校の魅力作りの一環として、放課後のこどもの居場所づくりとして2校で開校されていますが、参加者が多くて安心いたしました。内容も充実してきていると思います。放課後のこどもの居場所づくりとして、発展させていきたいです。文藝飯能についても、こどもたちの興味、発表の機会に繋がり、大変ありがたいと感じます。</p> |
| 議長 | <p>それでは、議事(2)情報交換になりますが、委員の皆さんから何かございますか。</p> <p>日頃、皆さま方が各団体で活動している中で、気になっている点や地域の実情、団体の実情など何でも結構ですので、お願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>P T Aは市からの補助金で活動しているため、今回の緊急財政対策により、今後の活動にどのような影響が出るか不安ではあります。</p> |
| 委員 | <p>生涯学習フェスティバルに話が戻ってしまいますが、名栗げんきプラザの体験ブースでぶんぶんゴマに聴覚障がいの方がいらっしゃいました。去年の図書館のつどいにて、聴覚障がいの市民に対しては職員がしっかり対応してほしい、という話を受けておりましたので、おそらくその方の親族ではないかと思います。当日は職員の方がおらず焦ってしまいましたが、手話通訳を通して良いコミュニケーションを取ることができました。また、ぶんぶんゴマのブースを手伝ってくれた大川学園の生徒は、とても面倒見が良く素晴らしかったです。</p> <p>最後に私は、図書館の館内案内をボランティアで行っています。45分程度、一人ひとり違う目線で案内を行っています。</p> |
| 委員 | <p>郷土芸能フェスティバルを2月15日に開催しましたが、600人強の観覧がありました。残念ながら来年度の予算は付かないようですが、郷土芸能保存会の方では、何らかの形で継続していきたいと検討しているところです。</p> <p>その翌週には生涯学習フェスティバルに体験ブースとして参加させていただき、本郷囃子保存会がやってくれたのですが、会長の考えのもと、すべてこどもたちに企画から道具運びまでやらせたようで、それも教育の一環ということでした。道具を大切にすることも学び、郷土芸能の灯を消さぬよう次世代へ繋いでいけるようにしていきたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>市民学芸員として活動していますが、博物館にもっとこどもにも来てもらいたいと思っているので、子どもの日に何かやってみようと計画中しているところです。</p> |
| 委員 | <p>生涯学習フェスティバルは、低山ハイクにスタッフとして参加しました。当日参加者もあり、やはり飯能は関心がある人が多いと感じました。とても</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>盛況でした。ホッケー体験も子どもたちにとって良い経験で、将来オリンピックを目指すなどの夢に繋がると素晴らしいです。</p> <p>ホッケーの話になりますが、スポーツ少年団の関係でドリームキャンプというものがあります。全国各地から男女120名が参加しました。その中から男女30名ずつ選手選考されるのですが、その30名に女子2名が選出され、東京オリンピックの会場となった大井ホッケー場にて開催された、こどもに夢を与える大会に参加することができました。</p> |
| 議 長 | <p>選考会などで学んだことを、ぜひチームに持ち帰っていい影響を与えてほしいです。</p> |
| 委 員 | <p>社会教育委員会議全体として、こんな取組をやっていきますよということで、何かのテーマに則って、老若男女にアピールをしたらどうでしょうか。</p> <p>「地形・地質ウオッチング！歩いて楽しむ飯能」の冊子に書かれている内容についても、名栗地域のことが掲載されていることを存じ上げませんでした。どんどんアピールすべきです。力があるうがなかろうが、今こそ皆が持っている生きる力を掘り起こしていくべきです。自分に何ができるか、という目線で取り組むべきです。</p> |
| 委 員 | <p>駿河台大学で教職を担当していますが、地域のボランティアに協力させていただき地域との連携を図るため、学生を地域に出すようにしています。こちらとしても、なるべく実習を飯能でしてほしいとの思いもあり、力を注いでいます。</p> <p>駿河台大学と地元の小・中学生などとの交流がもっと増えると良いと思います。また、令和8年度には、私が所属している体育同志会でも6つの市民講座を開く予定で企画しています。内容としては、林業・卓球・水俣病・和太鼓・体を使ったワーク・戦後の体育史などを予定しています。</p> |
| 議 長 | <p>本日の資料とは別に配布させていただきましたチラシについてお話をさせていただきます。原市場の森・桜と砲丸投フェスティバルの開催についてです。今回、飯能市が大変な状況ではありますが、市と市民が敵対するのは違うと思いますし、お金がないならしないで、やってやろうという気概が必要なのではないでしょうか。思いつきでも良いので、市民の行動の芽を育てていくのが大事です。飯能は山もあって街もあって成り立ってきました。ムーミンバレーパークもそこに上手くはまりましたし、今は市外の方のほうが詳しくかたりもします。「頑張ろう神戸」ではないですけど、春を目指すキャッチフレーズも必要かと思います。</p> |
| 議 長 | <p>続きまして、(3)本市の緊急財政対策について、事務局から説明をお願いします。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>課 長</p> | <p>本市の緊急財政対策については、第1回社会教育委員会議の際に本市の財政状況が非常に厳しいというところから緊急財政対策を講じているということをご説明をさせていただいたところです。</p> <p>委員の皆様、多くの皆様がすでにご承知かと思いますが、その緊急財政対策に係る説明会を今年の1月17、18日に別館会議室で行いました。また、2月に入ってから、富士見地区行政センターを除く各地区行政センターに向いて市長、副市長、教育長、財政当局の者が説明にあがらせていただいた次第です。</p> <p>来年度の予算を市議会に提案しているところではありますが、教育委員会、教育分野についても非常に厳しい状況です。令和8年度予算を計上するにあたり、教育委員会の中でこれだけを外してはいけないというところにつきましては、学校教育分野になります。学びの改革をはじめ、いじめや不登校、GIGAスクールといった学校教育に関連する事業の確保ということを最優先に教育長をトップとして貫いてきたところもございますので、結果的に、我々の社会教育分野の方に大きく影響が及んでしまったというところです。</p> <p>生涯学習に関連する事業の担い手であった実行委員会の皆様や文化芸術活動などに関わっている社会教育団体の皆様には所管課として、来年度予算計上が厳しくなった旨については説明をさせていただきました。厳しい意見も沢山いただきました。これまで、ここだけは外せない、というところを主張してまいりましたが、諦めざるを得ないところも多いのが実情です。その一方で、市からの財政支援を受けずにやっていく、という声もいただいています。</p> <p>市の最上位計画で教育分野もその計画に則って、市の運営をしていくところですが、その上位計画の下に教育振興基本計画があるのですが、来年度は第4期が始まるところです。その中にも今回の緊急財政対策を受けて、なかなか今まで第3期でやってきたものができなくなるというものも正直あるところですが、生涯学習の推進や芸術文化の奨励に関する取り組みを今の教育委員会で何ができるかというところを社会教育団体の皆様と考えながら進めていきたいと考えてるところです。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>それでは、ただいまの説明について、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>具体的に、どの事業が残るのでしょうか。</p> |
| <p>課 長</p> | <p>市民の大学については、これまで駿河台大学との共催により開催してきましたが、負担金を計上できないことを大学側に相談させていただいたところ、共催という形で役割分担して進めていきたいと思います、というお話をいただきましたので、大学の方に色々とお話させていただく形になりますが、引き続き市民の大学を続けさせていただくこととなりました。</p> |

次に出前講座になります。資料に説明があるとおり市の職員が講師として地域に出向いていく行政の取組です。実際にご自身の生活に役立つようなま保険の話や介護の話、防災にかかる話などいろいろな講座があるところです。こちらは、引き続き行っていくところです。

成人式開催事業につきましては、前回の社会教育委員会議の時にもこれをなくしてはというお話をいただいたところで、私たちとしてもこれは単なるイベントではなくて、新成人の方をお祝いする式典でございます。新成人の方に郷土愛を改めて感じていただくためのきっかけとしてやっているものでもあります。残念ながら記念品の部分については予算計上できていないところではありますが、成人式という式は式典として開催を続けていくというところです。

文化奨励金については、今年度の申請は0件でしたが、これにつきましては財源が文化スポーツ振興基金、いわゆる寄附金で賄っているものです。これについては、来年度以降は文化とスポーツ一緒に続けていくところです。

美術展、文化のつどい、文化祭、生涯学習フェスティバルについては、いわゆる文化活動の主力になる事業ばかりではありますが、こちらにつきましては、現時点では来年度予算には計上されていないというところです。

具体的にどこの何の事業という風には申し上げられないところではありますが、この中にもご自身たちで、市からのお金は期待しない、ご自身でやりたいというご意見をいただいている事業もあるところです。

人権教育推進事業につきましては、なくてはならない事業である、生涯学習課ではまさにこれこそなくしてはいけない事業という自覚がありますので、例年通り続けさせていただき予定です。「明るいまちづくりへの提言」という冊子を作成しており、小・中学生の作文などが掲載されていますが、その印刷にかかる予算が計上されていませんので、これらは例えば電子版にするとか、自分たちでどうにか作るというような、まだ方向性は定まってないところではありますが、ぜひ引き続き続けていくという予定になっています。

青少年健全育成事業の中の放課後子ども教室につきましては、引き続き続けていく予定です。内容につきましては、若干回数が減ったりということもありますが、緊急財政対策による縮小ではなく、中身の見直しになります。夏場の危険な暑さ、非常に厳しい時期の開催がどうかという問題もありましたので、そういったところの危険性を排除して、引き続きこどもの居場所づくり、小規模校の魅力づくりを行っていきます。

さらに子ども大学はんのうについては、駿河台大学、商工会議所、飯能信用金庫、飯能市教育委員会の産官学金で開催しており、社会教育分野とする自慢の協働の事業でありました。参加者も増えてきてまさにこれから、という事業でしたが、市の負担金が支出できないことを実行委員会にて説明させていただき誠に残念ながら、この度廃止という判断となりました。

青少年育成飯能市民会議との共催事業である少年の主張大会と市民会議の補助金については、いずれも予算計上できていない状況です。少年の主張

| | |
|----|--|
| | <p>大会については、今回の会議でも話がありましたが、どうにか続けられないかというお話もいただいているところではあります。大会当日だけではなく新年度始まったらすぐに動き出さなければならず、また、市民会議の皆様をはじめ、文化協会の方々、いろんな方のご協力のもとで開催してきた事業です。一度この大会の予算がなくなってしまったところから復活というのは今のところ厳しい状況です。来年にもできます、できませんというのは申し上げられない状況となっています。市の予算とすると休止となっているところではあります。</p> |
| 委員 | <p>子ども大学はんのうを廃止しなければならないのは、負担金だけが理由なのではないでしょうか。</p> |
| 課長 | <p>事務局の運営を市が担っていましたが、そこにかかる人件費負担の抑制、という面が強いです。市以外の三者で新たな形を模索しているという話を伺ってはおりますが、子ども大学はんのうとしては一旦解散となります。</p> |
| 委員 | <p>文化活動推進事業に予算計上しない、というのはいかがなものでしょうか。こどもたちの文化活動、発表の場を確保するということが大事です。今まで別々にやっていた事業を掛け合わせて何とかゼロ予算でやっていく、などということも考えるべきではないでしょうか。また、お金が出せないからこれは廃止、これは休止、という言い方で進めていくより、市民が安心して今後の文化活動に関わっていけるような言い回しも大事だと思います。</p> |
| 課長 | <p>補助金をお出しすることはできませんが、共にできること、支援できることを文化団体と共に考えさせていただいています。</p> |
| 議長 | <p>休止イコール廃止、ではないという安心感は市民にとって大事です。休止という判断を受け入れたのは、廃止ありきではないと信じているからです。今後の文化活動については、お金だけではない切り口が必要になってきます。</p> |
| 議長 | <p>他に質疑はございますか。 （「なし」の声あり）</p> |
| | <p>これで本日の議事全てを滞りなく終了することができました。これをもって議長の任を解かせていただきます。</p> |
| 課長 | <p>大野代表、進行ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、会全体を通しまして、何かございますか。 （なしの声）</p> |

| | |
|--|--|
| <p>課 長</p> | <p>(閉会あいさつ)</p> <p>社会教育委員の任期についてですが、令和8年6月30日をもって現在の任期が満了となります。</p> <p>任期満了に伴い、来年度新たに委嘱をさせていただくこととなります。団体から選出されている方につきましては、団体事務局等に年度が変わってから推薦依頼を送付させていただく予定でございますのでご承知おきください。</p> <p>以上をもちまして、令和7年度第2回飯能市社会教育委員会議を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">閉会：午後11時46分</p> |
| <p>議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p> | |